

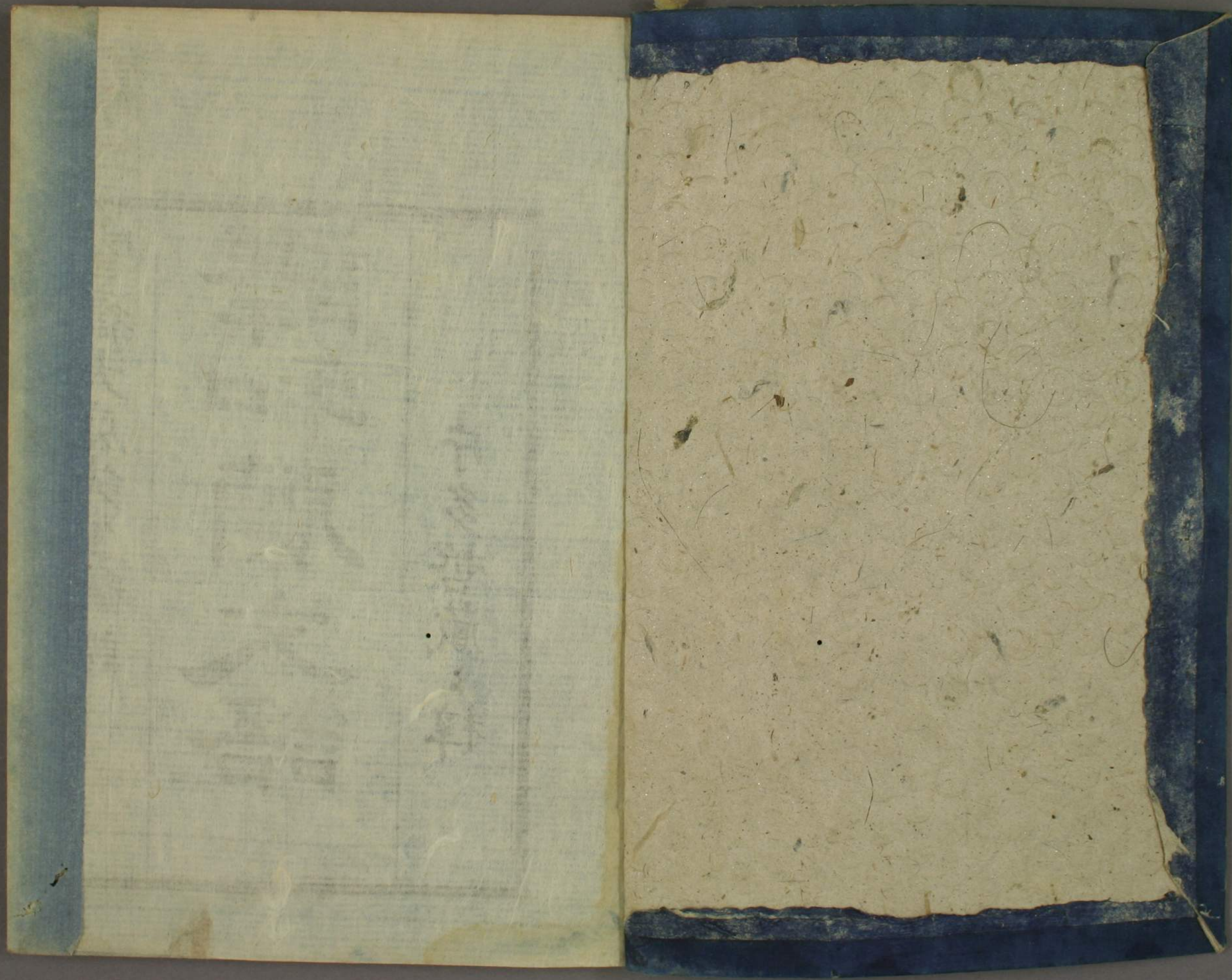
譯和蘭文語

後編上

三

ホ 10
714





明 卷加 10
714
卷 3

雪齋大庭先生翻譯

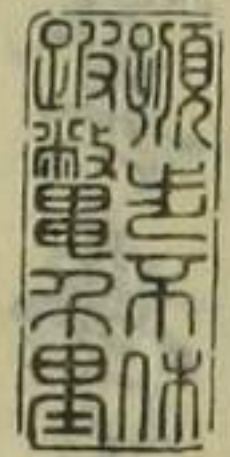
貳集

譯和蘭文語

片多哲藏之梓



題言



語者敘也叙已所欲說也天之隅地之
角其國雖僻其民雖野得互叙其說
交聽其說者蓋因綴其音連其言各
國有自然法則者存焉而已西洋諸國
近究其自然法則設語法之一科而文
章之規矩定矣故欲詳其書察其情

言永蘭文三
者不可不先學其語法書然而其書既
彼邦之語教之難喻學之難解吾黨
之學者未窺其門播而中道廢者殆
不鮮也西肥雪齋大庭氏予同窓之友也
幾強仕憤然起志始讀西籍不耻下問
不遠千里來游于予門焦思苦心裘褐
未換而其學大成矣 藩侯英明頗好

西學舉以令導諸士頃者澤和蘭語
法書請予一言予受而閱之字之穩當
條縷粲然無復毫髮之遺恨自非善
通曉 皇國支那之語法奚能得有
此筆力耶 學者苟由是學之則諭其
難喻解其難解升堂入室亦不難也
竊思自今而後 我邦之士學西籍者

日多一日而萬國之書愈可詳外蕃之情
益可察矣大進氏之功不亦偉乎於是
乎不願謗方題表言于卷首以記區
之喜云爾 安政丙辰六月緒方章公裁
識于浪華之僑居



吳榮書 識

和蘭文語後編叙

大庭雪齋所譯和蘭文語前編既上梓或曰浮
躁之徒資之以鼓其頰舌如何余曰不徒農夫
患莠粮而不棄耒耜場師惡標標而不廢斧
斤事苟補於世則瑣之流弊有不暇顧者方今
明良相契百度惟新於是泰西諸學日月而盛吾
黨之士百方通德宜無遺力若此編也其惠於
窮鄉無所晚進無資者固不力淺斯是夫百
石之松子施諸十里之園雖未可期盡力棟梁
之材然其中必有磊砢凌雲苞樹於後雪之搜

ニ秤リノ中ニ置クト譯シテ、左傍ニ△△△△ノ記
 號ヲ設ケ、其置ク中ニ still in de 秤リノ *waagsehaal* ト言ルハ譬喩ノ
 辭ニメ、全ク一連ノ活辭ナルコトヲ示サンカ為ニ、
 中ノ對譯ニハ、其譬喩ノ義ニ由リテ、テ天道任マカセ
スルト譯セル等ナリ。他ハ類推スヘシ。又夕對譯
 ノ語ノミテ、初學ニ理會シ難カラントラ思念
 セル者ハ、中對譯ノ下ニ、更ニ復タ數言ヲ贅シ
 テ、其義理ヲ察セシム。熟讀シテ理會シ了ルベシ。
 凡ソ是ノ如キ書ニ例文ヲ出セルハ、所謂ル經書
 ノ類ヨリ取レル者多シ。是レ蓋シ初學ノ童子ヲ

シテ文法ヲ學バシムル時、側ラニ仁義忠孝ヲ知
 ラシメント欲スルノ老婆心ナルベシ。故ニ二三
 子亦タ是等ノ書ヲ讀キ、側ラニ其例文ノ意旨ヲ
 玩味セハ、極遠ノ西夷ニモ、支那ノ學庸論孟ニ愧
 ガル美言ノ在ルアルヲ知ラン

安政三年秋八月朔 大庭雪齋 誌

安政三年四月八日

大英書院

和蘭文語凡例後編序

和蘭文語凡例後編序

○諸學藝ノ勸進ヲ司レル文社先生ヨリ、千八百零五年ニ發行セル留地棉多即チ和蘭文ハ、此先生ノ定評ニ從ヘバ、當ニ聖太幾施斯即チ屬ト并ヒ行ハルベキ者トセリ。然ルニ種々障礙ノ事故アリテ、今日ニ至ルマデ此發行ヲ急ラシメタリ。然レモ今之ヲ發行セルノ日ニ於テハ、彼ト此トノ發行ニ由テ、華美ナル和蘭文語ノ富饒順整ナル者ヲ研學スル培養ノ為ニ、其定評ヲ達センコトヲ庶希シテ、此兩冊子ヲ國中ニ命シ、殊ニ學校ニ

命シテ之ヲ讀シムルノ悦ヲ得タリ

○此冊子ヲ襲用スルニ就テ、後段ノ事ヲ贅論スル^ル、亦タ無用ノ事ニ非ルベケン。蓋シ此冊子ハ、留地^{リユヂ}棉多^{メンタ}加驚麻知ニ由テ、既ニ文語ノ通基本ヲ學知セル書生ニ非レバ適當セザルナリ。因テ亦タ文語分ノ各者ニ就テ、其用法及ヒ實辭陪辭ノ變勾、活辭ノ變畫等百般ノ事ヲ、全ク識得セル書生ニ非レバ適當セズ。教師乃チ若ク預備シタル書生ヲ取り、短小ノ段節ニ於テ、此屬辭論ヲ讀シムル^ル、毎ニ其習學セル者ヲ保持セシメ、亦タ之

ニ問テ其習學セル者ヲ、十全ニ理會シタルヤ否ヲ試ムルノ法ヲ行フベシ。其理會シタルト否トヲ尚能ク檢査セント欲セバ、勉テ前論ノ則ニ違ヘル文例ヲ書シテ之ニ與ヘ、以テ其已ニ學ヘル者ニ由リ、其例ノ謬誤ヲ指示シテ、而メ之ヲ改竄スルニ態ニ至レリヤ否ヲ觀ルベシ。然メ中卷下卷ヲ讀ニ當テハ、此教導法殊ニ有用ニメ、已^レヲ得ザル者アリ。是レ此兩卷ハ其性ニ因テ、論說短少ナリト雖モ、然レモ曾テ不緊切ノ者ニ非ズ、亦タ之ヲ理會スル^ル、上卷ノ如ク容易ナル者ニ非レ

バナリ。故ニ茲ニ至レバ教師ハ殊ニ其書生ニ未
 ダ全ク瞭然タラザル者アルヲ推量觀察セハ、
 詳解文例等ヲ設ケ、分明ニ之ガ胸臆ニ達セシメ
 ン^レヲ思^フベシ。其之ヲ達セシムルニハ、事理ノ性
 ノ精疎アルニ應^ジ。短文若ハ長文ヲ板上ニ書シ
 テ、其文中ニハ已ニ習讀セル論說ニ於テ、預ノ辨
 明スベキガ如キ錯誤ヲ設ケテ、而メ之ヲシテ其
 謬誤ヲ探索セシメ、改正スル^レヲ習スベシ。然メ
 他ノ黌本ヲ讀ム^ルニ於テモ、教師ハ亦タ其既ニ
 教^ヘタル事ヲ的證スルニ怠ル勿^レ。且ツ其辭々

ハ何が為ニ彼此差異ノ序列ニ相屬セルヤ。其理
 ヲ問フ^レヲ怠ラズ、亦タ且ツ書生ヲシテ文中ノ
 主辭ト^シ之ニ屬セル者ト^シ活辭^ハ分ヨリ分割セシ
 ムル等、諸般ノ事ヲ怠ル^レ勿^レ。最後高上ノ習學
 ニハ、此冊子ノ論說ヲ以テ、小説、短話、童蒙書簡ノ
 製作ヲ加フルナリ

文社先生ノ需ニ應^ジ千八百十年第十月十二
 日亞^ア謨^ム私^シ的^テ爾^ニ太^タ母^モノ外史

ヘンデレッキラヘケッス

撰

肥國佐嘉

大庭^志雪齋

評

和蘭文語凡例後編 非... 大庭 志 雪齋 翻譯

和蘭文語凡例後編

大庭 志 雪齋 翻譯

○屬辭緒言

○凡ノ文語ヲ熟知セント欲シ。亦タ能ク之ヲ用
ヒント欲シテ。單一ノ辭々ヲ其真音ニ隨テ記誦
スルヲ知ルハ足レリトセズ。其辭々ノ本然性
質變句等。多少目的スベキ者ニ就テ全ク識得セ
ルヲモ亦未ダ得タリトセズ。其之ヲ能ント欲シ。
言辭ヲ章句ニ綴合シテ。一連ノ文章ト為スニハ。
如何ノ法ニ於テ辭々ヲ綴續シ。亦タ如何ノ順次

ニ於テ之ヲ連續スベシト云フヲ知ル^ル。殊ニ緊要ノ事ナリトス。蓋シ文語ノ大目的ハ、單一ノ物體ヲ分明ニ理會ス可ラシメテ之ヲ記錄スルニハ、甚タ切ナリトセズ。但文語ノ媒介ヲ以テ、我思念、論說、技術、願望、好欲等ヲ、整然分明ニ他人ニ配與センカ為ニハ、尚殊ニ緊切ナリトス。然レ厄辭々ヲ屬スル^ル。我考案ノ全連續ノ、我心意中ニ見存セル者ニ違ハズ。他人ノ心意中ニ親切ニ與ヘ去リ了ルベキガ如キ法ト、順次トニ於テ、之ヲ列屬スル^ル。ヲ知ル^ルニ非ンバ、何ヲ以テ之ヲ能スル

ヲ得ンヤ。故ニ語法學ノ部分ノ、人心中心ニ於ル想像ノ天然順次、并ニ文語ノ殊別ナル性質ニ由テ生スル所ノ辭々ノ綴合連續ヲ知ラシムル者、極テ緊切ノ者ナリトス。此部分ハ之ヲ屬辭法ト名ケ、厄里失亞國辭ヲ以テ聖太幾施斯ト名ルナリ。然メ其屬辭法ニ關ル通基本ノ、如何ナル者ナリト云フハ、已ニ之ヲ說示セリ。即チ其基本ハ、人心中心ニ於ル想像ノ天然順次ニメ、考案ノ列序ニ於テ初ニ思念セル所ノ者ハ、口語筆語ニモ亦タ初ニ示スベキ者ニメ、而メ其想像ノ親密ニ結合

ニ童子ガ為ス所ノ事ノ^繼ヲ以テ示セル命意
ヲ接シ。又タ其次ニ極定シテ。童子ガ繼グ所ノ事
ノ^教ヲ^其ヨク^又接スルナリ

○右ニ辯論セル屬辭ノ基本ハ、多少ノ度ニ於テ
スレバ、萬國文語ニ通ゼリトス。然レモ各異ノ文
語ニ在テ之ヲ適當セシムルニハ、其文語ノ殊別
ナル性ノ之ヲ肯セリトスル者ト。之ヲ用ル各國
人民ニ合當セリトシタル者トニ隨テ、種々ノ法
ニ施用スルナリ。今各國ノ人ニ合當セル者ヨリ
之ヲ觀レバ、各國文語及ビ和蘭文語モ亦タ、一種

別ノ屬辭アルナリ。故ニ斯舉ニ於テハ、他國文語
ノ差異ニ於テ、我本國文語ニ固有セル屬辭ノミ
ヲ論スルヲ目的トス。今此要件ヲ勉テ全整ニ辯
論センガ為ニ、之ヲ三卷ニ分チ、其上卷ニハ單一
辭々ノ連合ヲ論シ、中卷ニハ其辭々ノ文章中ニ
相列次スル順序ヲ論シ、下卷ニハ文章ノ合并ト
各異ノ類トヲ論スルナリ

[Faint handwritten text in vertical columns, likely bleed-through from the reverse side of the page.]

和蘭文語凡例後編卷之上 千八百十年發行

佐嘉 大庭 雪齋 翻譯

江戸 片多 哲藏 校定

○單辭連合

○性辭并性辭ト實辭トノ連合

性辭ハ人人ノ知レルガ如ク、數ニ在テハ兩個ト
ス。即チ極定性辭ト不定性辭トナリ。此

四

一般ノ類質ヲ目シテ。其類質ノ多少極定セル物體ヲ注目スルニ非ルナリ

右ノ定論ハ亦タコレヲ他ノ成語ニ及ボス

得ルナリ。即チ *te paard ryden* 乗ル馬ニ *over land witten* 國ニ旅スル

te voet gaan 行ク *te huis blyven* 止ル家ニ *aan zee wonen* 住ム海ニ *stuit* 奪ヒ物ヲ

schalen 得ル 奪ヒ物 *netten breiden* 編ム網ヲ *brood bakken* 蒸餅ヲ焼ク *water schepen* 水ヲ汲ム

top verblijven 要スル 譽レテ *koop veele* 養フ 望ラ *waarheid zoeken* 真ヲ求ル 商賣ヲ

buyzen 能スル 商賣ヲ *hier bidden* 麥酒ヲ醸スル 麥酒ヲ醸スル *met bloed kromen* 血ヲ以テ ヨゴラカス 血ヲ以テ ヨゴラカス 等百

其同類ノ他ヨリ拔擢シテ目スルニ非ズ。只其事

般ノ成語ノ如シ。是成語ハ皆一定殊別ノ事物ヲ

五

物ヲ一般ニ示セル者ナリトス

諺ニ用ル許多ノ成語ニ於テ。性辭ヲ屏除スルノ原因ハ。同シク目的ノ不定極ニ出ルナリ。即チ *na regen* 後ニ雨ノ

kracht hebben 法ヲ 餘義ナクハ 貧乏ハ 偽リヲ 貧乏ハ偽リ 後ニ 雨ノ

komt komschijn 来ル 日ノ光リカ 雨ノ後ニ日ノ 光リカ来ル 人ハ 能ハヌ 鐵ヲ 以テ 手ヲ

eben 破リ 人ハ手ヲ以テ鉄ヲ破リ能ハヌ *olie in het vuur werpen* 油ヲ火ニ投ル 油ヲ火ニ投ル 同様ナル

衆多ノ成語是ナリ。我藩ノ諺ニ全人ナシレバトス

テ地カタマ「車ノ横オシハナラヌ」

モ工火ニアブル「等ト云者ニ同シラヌ」

茲ニ天地間ニ存在セル物品ヲ示サズメ。獨一人

民ノ想像中ニ成ル所ノ事物ヲ示セル辭アリ。是

六

澤口貞文語

ノ *het bondert, het regent, het konink, het veldrijdt my*
ソレハ 雷ナル ソレハ 雨フル ソレハ 後悔サスル ソレハ 心痛ナスル
 如ク。不人活辭ノ前ニ於ル者。或ハ *het is meer*
ソレハ好キヨ ソレハアル 愛シキ 子共デ ソレハ愛ラン 子共デアノ如ク。一定ノ
 事物ヲ不定ニ説話セント欲ル者。或ハ *het gebiedt*
チヨト 千ヨトツレカ出来ル(蓋シト) ノ如ク。文章ヲ不定ニメ端ラ
 始ル者等ハ。當ニ語法學ニ由テ分明ナルヲ得
 ベシトスルナリ

二

事物ヲ審定スル一無クメ。 *een uit zelden*
一ツ カラシ 多クモノ カラノ一ツ
 云ト同様ナル不定性辭 *een kind* ナル者ハ。其性質ヨリ
 復數ヲ察ス可ラストス。故ニ不定ニ數物ヲ示ン

一三

ト欲スルキノ復數ニ於テハ。純一ニ性辭ヲ屏除
 スルナリ。故ニ喻ハ *een knap kind* *een kind* *een vader*
善童子ハ其父 母ヲ愛スル ト云ル語ヲ。復數ニ成シ持チ去ラント欲
 スルキハ。則チ *een goede kinderen* *een vader* *een moeder*
善 童子ハ 愛スレ 父レノ 母レノ
 云ナリ
 不定性辭ハ其屬スル所ノ實辭ノ。文章中ニ於テ
 至近前ニ在ルキハ。時ニ獨立スルヲ得ルナリ。
 喻ハ *Wie geeft my een boek, wie is er een*
何人ハ 與ルガ 吾ニ 書物ヲ コニ アルツノ 一ツガ
ガア 與ヘヨ 吾ニ 汝ノ 鷲筆ヲ ナラバ 汝ガ ソノ 一ツヲ 持ツ
ラバ 持ナ *Wie geeft my een pen, indien gy er een hebt.*
何人ハ 與ルガ 吾ニ 汝ノ 鷲筆ヲ ナラバ 汝ガ ソノ 一ツヲ 持ツ

一三

同數同性ノ數多ノ實辭一連ニ并列スル片ハ、
 其最初者ノ前ニノミ性辭ヲ置テ足レリト也。喻
 ハ、*de wysheid, loghe en godsvrucht men behou man*
賢智アルト 仁愛アルト 信心アルト
 ト仁愛アルトト 信心アルトトノ如シ。然メ男性ト女性トノ名辭ニ在
 テモ、第一格ニ見レル者ハ、同ク最初ノ一者ニ之
 ヲ置クナリ。喻ハ *de wysheidsloghe, heldenmoed en standhoes*
博愛アルトガ 勇氣アルトガ 取リ極リアルト
tighed onker voorvaderen hebben dit land vrygenant
我善ノ 先祖ノ 國ノ 自由ニ
祖ノ博愛アルトト勇氣アルトト取リ極リアルトトガ此國ヲ自由ニシタ獨立セシメタト云意
 ノ如シ。又夕兩辭ノ前ノ
 性辭同物ナル片、其辭々ノ數ノ異ナルカ為ニ、次
 者ニ之ヲ略スルヲ能ハスト云論理アルトナシ。

一四

喻ハ *de ket de boeking en kunstherticken van mynen vrien*
見物シ 吾ハ吾ノ友人ノ書庫ト 學問部屋ヲ
kenyngs
吾ハ吾ノ友人ノ書庫ト 學問部屋トヲ見物シタ
 ノ如シ。
 然レ凡問性ト男性トノ辭、或ハ問性ト女性トノ
 辭、第一格ニ於テ相并列シ、殊ニ各異ノ性ト各異
 ノ數トノ變幻ノ格ヲ連續スル片ハ、已トヲ得ス。
 極定性辭ヲ反復セザル可ラス。即チ *de boed en ket*
生ガ 死ト 初メガ 移リ行キガ 終リガ 事ノ
leven, het begin, de voortgang en het ende einer knaak
事ノ初ト終リガ 行ト終リガ 満足ガ 春ト 夏ト 春ト夏ト 已
de ginoogens men de lente en den zomer
心ノ好ミト迷ヒト 已レヲ送リ與フ
al aan den wellust en de behoringen der zinnen overgeven
心ノ好ミト迷ヒト 已レヲ送リ與フ
 ノ如シ。

所ノ成語アリ。即チ *uiten is lands* 外ニ 國ノ 外ニ *orden is hands* 手ノ 内ニ

ノ如シ。又タ一个ノ態ニ於テハ、此割縮害ナキ

一アリ。 *een sefel van is konings* 命令 *wege* 王 *uitgehandigd* 出サレ

タル命令 *manchen lot of wude is gemenge* 運ハ上ノ土地 *uit goed en kito* タ

土地ノ人民ノ運ハ 善ト惡トカラ混シク ノ如シ。之ト同シク *het* 辭モ亦タ 時

ニベト短縮スル一アリ。是レ此辭ノ、文章中ニ後

ヲ逐テ、數回見ル、キト、其之ヲ受ル辭ノ、韻字ヲ

以テ始レルキトハ、殊ニ然リトス

乙〇實辭

〇二個若ハ數個實辭連合

二個若ハ數個ノ實辭ヲ相連合スル一ハ、其或ハ

同等系累ニ於テ相并見シ、或ハ不等系累ニ於テ

相并見スルトノ度ニ應シテ、約メ二様トス、其同

等系累ノ連合ハ、二個若ハ數個ノ實辭同一物ヲ

示シ、或ハ此實辭、彼實辭ヲ辨明審定スルノ用ヲ

為シ、或ハ互ニ相并列セル、差異事物ノ名目ナル

片乃チ是ナリ。其不等系累ノ連合ハ、其系累夥多

ナルヲ以テ、差異ノ法ニテ之ヲ示スナリ

〇二個若ハ數個實辭同等系累連合

同一物ノ名目ノ如、ニメ并見スル二個若ハ數個

巴レノ tyne moeder. 事足ル 神ヲ 忍レ	善息男ハ其父ト 其母トヲ尊フ	健康ナル gecondheid, 健康ナルトハ良キ事	好キ een goede naam en
tyne de beste schatten. 徳 望ニテ ノ仁愛	健康ナルトハ好キ事 足ルトハ良キ事	彼ガ tyne	彼ガ tyne
carit god, menschen noch 持物ヲ 巴レノ 譽ヲト 巴レノ 生計ヲ 中ニ	法ヲ 彼ガ神ヲモ人ヲ モ法ヲモ恐レヌ	彼ガ stelt tyne	巴レノ
schellingen, tyne een en tyne leven in de magtschaal. 譽レト生計トヲ 天道性也ニスル	巴レノ 譽ヲト 巴レノ 生計ヲ 中ニ	秤 magtschaal.	彼ガ其 持物ト

二二

○二個若ハ數個實辭不等系累連合

二個以上ノ實辭ヲ相連合シテ其格ノ互ニ異ナルガ如キ態ハ即チ不等系累ニ尚衆多ナリトス

此系累ハ蓋シ三様ノ法ニ成ルナリ即チ *lypde tot de deijge*, *koop op betove tyden*, *tygen van den he*

二二

成ル一ナリ。 *de gumbingen des leuens*, *de bekoortgheden*

mel, *menschen uit de stad*, *de bekoortgheden*

de linte, *de ginst der menschen*, *de bekoortgheden*

ニ於ル辭ノ連合ニ成ル二ナリ。或ハ *een stapel boeck*

een stapel van boeck, *een stapel van boeck*, *een stapel van boeck*

様ノ者トス

變句第二格ニ於ル實辭ト他ノ實辭トノ連合ニ

在テ性辭ヲ冠セザル前者ハ常ニ其後者ヨリ先
 ヲト云フヲ識得スベシ。即チ *particls* ターニツ *psalmen* ターニツ
Yonckels ホシテ *treurspelen* ホシテ *gods* 神 *rechtvaardigheid* 善哉ナル
ing サロモン *salomons* 國法 *regering* 王サロモン 等ノ如シ

二三

右最後ノ例ハ單一想像ヲ成セル兩辭ト第三ノ
 辭ト不等系累ニ於テ連合スルキハ唯其第二者
 即チ最後者ノミ。第二格標ノス字ヲ領スト云フ
 ノ目的ヲ導クナリ。故ニ *kening* *salomons* *regering* ニ於
 テ初メノ兩辭ハ單一想像ヲ成セルヲ以テ第二
 格ノ標モ亦タ其後者ノ後ノミニ在ルナリ。然メ

二四

kening 王 *federicks* フリデリック *rettsack* 法書 *com* 伯父 *pieters* ピーテル *kuischouling* 齊家
伯父 *groaf* 侯 *ledersyds* ロアウエイ *intogt* 歸途 等ニ於テモ之ト
 同様ナリトス
 第四格ヲ配セル冒辭 *van* ハ屢バ變勾第二格ノ代
 リニ來ルナリ。即チ *de gansogend des leuens* ト云代リニ
de gansogend van het leuen 生計 ト云ヒ *de schoongheden der* 好シキ
leuts 春 ト云代リニ *de schoongheden van de leuts* 春 ト
 云フ *de besten der konings* 命令 ト云代リニ *de besten van* 命令
den koning 王 ト云ガ如シ。蓋シ此冒辭ハ性辭ヲ冠
 セサル實辭ノ部屬ヲ受ル者ヲ其部屬スル實辭

畢口貞文五

書生 *Faceling* 勉強スル書生 *de gheoorname dochter* 従順ナル娘 *het brave kind* 善ナル童子

子ノ如シ

二七

陪辭ノ實辭前ニ位スト云フニ於テハ唯本名ニ在テ其同名ノ他者ヨリ分別センガ為ニ性辭ヲ冠タル陪辭ヲ本名ノ後ニ置ク片ノミ。膚見ノ變則ニ罹ルナリ。即チ *Willem de eerste* 初代ノ「ウイレム」 *Colenlyck de* 初代ノ「ウイレム」

十四代目ノ *Westinde* 十四代目ノ「ウイレム」 *de groote* 大ナル「アレキサンデル」 *de groote* 大ナル「アレキサンデル」

ク他者ノ分別ニ於テ *Willem de eerste* 初代ノ「ウイレム」 *Willem* 初代ノ「ウイレム」

等ト云ル者ト一般ニメ其後ノ *Willem* 初代ノ「ウイレム」ハ唯簡約ノ為ニ略セラレタルノミ

二六

然レ凡陪辭或ハ判辭モ亦タ時ニ性辭ナクメ實辭ノ後ニ見ル一アリ。 *de kop van de wijfje een kild* 譽ノ「デ」

一様ニ 人ヲ愛スル *men schlikt als opper* 勇アルトウリニ一様ニ人ヲ愛スル 仁勇兼備ノ如ク

シ。然レ凡此態ニ在テハ右ニ示シタル例ニ明ニメ。而メ後例ニ尚ラ詳明ナルガ如ク是等ノ辭全ク變幻アラザルヲ以テ副辭ノ形ヲ取レル者トス。因テ *draagmid en de groot, twee mannen de veronderwing* エラスミニヌ ト「ゴロート」ニ 男子ナル 驚異ヲ

驚異ヲ *van alle eunten waardig* 時代 價スル 末世未代ノ驚異ヲ價スルニ男ト云ルハ *van alle eunten waardig* 時代 價シテ 子ナル「エラスミニヌ」ト「ゴロート」ト云ルハ *van alle eunten waardig* 時代 價シテ 子ナル「エラスミニヌ」ト「ゴロート」ト云ルハ

一般ナリ。乃チ活辭 *zijn, worden, blijven* 後ニハ陪辭

三

ノ一節ヲ成セルガ如キ者ナリ。故ニ適宜ニ横線
條ヲ用テ、之ヲ其實辭ト綴合スルヲ得ルナリ。
Plan - Kautenwörter 等ノ法ノ如シ

同辭尾アル兩陪辭ヲ連合スルニ於テハ、第一者
ニ其辭尾ヲ割去シテ、唯第二者ニノミ之ヲ置ク
ヲ得。而メ此態ニ於テハ、横線條ヲ以テ其割去
ヲ示ス。殊ニ通常ノ語法ニ於テ然リトス。即チ
een kunst- en tegengelyke leen 學ビ
gevoel 感ニ
gevoel 外向キト内
向キノ感シ
ノ如シ
陪辭モ亦タ格ヲ部屬スルナリ。其一ハ *zijn verstand*

三

通カアル <i>moedig</i> ; ノ通カアル	巴レノ才智 ノ知リアル	<i>des doods schuldig</i> ; 死ノ罪アル	死ノ罪 アル	巴レノ 無罪ノ	<i>zijn onschuldig</i> ; 知リアル
レリ。即チ	彼レノ <i>zijn verstand</i>	通カスル <i>moedig</i> ; 彼レノ才智	彼レノ才智 ヲ通カスル	死 罪 <i>den doods schuldig</i> ; 罪スル	
第三格ヲ受ク。	人ハ <i>nemans is gode in magt gelyk</i> ;	知テ居ル <i>verstant</i>	彼レノ無罪カ ヲ知テアル	等ノ如シ。其二ハ	
汝ノ 見舞ガ <i>isf bezoek is my aangenaam</i> ;	吾ニ 快ヨク <i>isf bezoek is my aangenaam</i> ;	汝ノ見舞ガ吾 ニ快クアル	童子ハ <i>een kind mocht zijn</i>	童子ハ 子ハナラズ	巴レノ
父母ニ <i>oudeven gheoorzaam zijn</i> ;	彼順ニ 順ニアラ子ハナラヌ	童子ハ巴レノ父母ニ従 順ニアラ子ハナラヌ	仕事ガ <i>het verken is te niet</i> ;	アル 要領ニ	
仕事ガ汝ニ要 用ニアル	等ノ如シ。然レハ通常ノ文ニ於テハ、之				

三六

最モ愛シキ 中ノ 諸人ノ 諸人ノ中ノ 最
 gyste Jan allen, 最モ尊敬ナル 中デノ 巴レノ 同町人
 conkuchykste onder tyne medeburgers. 其同町人中デノ 最モ尊敬ナル
 陪辭ノ人獸事物ノ性質ヲ示スノ用ヲナサズメ、
 唯他陪辭ノ義ヲ審定スルノ用アルキハ、時ニ副
 辭ノ本性ヲ領スルコトアリ。 *eene yacht visschende see,*
 緩カニ 響カニ 響カニ 響カニ
 響カニ *eene aangenaam reukende bloem.* 快ヨク 香フ 花
 カニト 快ヨク トハ 小川 ト花 トニ 属セズメ。此両
 辭ニ 帰スル 性質ニ 属スルナリ。
 丁○代辭

三七

人代辭ニ於テ其第一人ト第二人トヲ示ス所ノ
 人代辭ハ、類族ノ區別ナクメ之ヲ用ルナリ。何者
 此兩人ハ、之レガ自然ノ態ニ由テ已ニ十全一定
 シテ、顯著ナレバナリ。然レモ 距離隔セル諸般ノ物
 體ニ 關係スル 第三人ハ、單數ニ於テ三種ノ類族
 ニ 見ル、ナリ。 辭ヲ 始ト 一般ニ 襲用
 復數ニ於テ *pyliden, veldere,* 辭ヲ 始ト 一般ニ 襲用
 セル用法ハ、錯誤ノ考定ニ罹リテ、而メ多ク分明
 ヲ 増進スルコトナク、無益ノ事ヲ 辨明セル音ノ不
 適意ナル 反復ヲ以テ、其文ヲ 峻惡ナラシムルト

三元

メ、凡テ之ヲ嫌屏スベキヲ識得スベシ。方今ハ亦夕單數トメ襲用中ニ在リト雖モ、辭ノ本原ハ蓋シ複數トス。然メ辭ト變勾格ニ於ルトハ、古昔ノ單數ニメ、本真ノ單數トスルナリ。且其論話ノ一人ニ罹レルト、數人ニ罹レルト否トハ、亦夕其地處ニ於テ十全ニ分明ナリトス。代辭ノ後ニハ、屢バ之ガ幹旋ノ用アル實辭ヲ承クナリ。是態ニ在テハ其實辭、數モ格モ人代辭ト一樣ナラン。一ヲ要ス。但其性ハ異ナル。一ヲ得ルナリ。即チ *schone kin, een verader, te onbedacht mijn* 吾ハ其惡逆者ナル彼 彼ガ與ヘシ吾ニ 正直ノ友ナルニ考ヘナクテ交リシ *ky gat my, mynen spieghel vriend* 彼ガ其正直友ナ 此書物ガ 極動メテ 極從順ノ書生ナル 贈リ物 與ヘシ 此書物ハ極動メテ極從順ノ書生ナル汝ニ贈リ物ニ

四〇

親ミヲ *vertrouwen* 吾ハ其惡逆者ナル彼 彼ガ與ヘシ吾ニ 正直ノ友ナルニ考ヘナクテ交リシ *ky gat my, mynen spieghel vriend* 彼ガ其正直友ナ 此書物ガ 極動メテ 極從順ノ書生ナル 贈リ物 與ヘシ 此書物ハ極動メテ極從順ノ書生ナル汝ニ贈リ物ニ

親族 *flacht, wordt door allen betruurd* 親族ノ死ガ 諸人ノ悲マ 彼レノ親族ノ望ミテ飾ナル彼男ノ死ガ諸人ニ由テ悲シマル、ノ如シ

第三ノ人ノ代辭ハ、通常之レガ系累アル物體ノ族性ヲ承ヒデ、其物體ヲ示セル言辭ノ性ヲ承カザルナリ。 *myne majesteit gay te kennen, dat hy verlangde* 待長クシセシステイトガ待長クセシヲ知セシ 與ヘシ 知ル 彼ガ 待長クシセシ *het meisje leit het kind vallen, dat hy op haren oem droeg* 小女ガ 子ヲ 落ナ 丹ノ 彼男ニ 抱ヘシ 小女ガ 抱ヘシ 子ヲ 落ナ 時ニ 彼ガ 吾ニ

大将ヲ戰ヒ中ニ疵ヲヒタリシ而メ彼大将ガ外科医ニ由テ
卷本締セラル、デモアラウ北ヒニ此医ガ銃丸ヲ頭ニ受シ

乃チ其最後ノ代辭

ハ、外科醫ニ注目スル、分明ナリトス。然レドモ

若ハ *Schelle*ノ代リニ 彼ガラ置ケルハ、則チ迷

感ヲ生スルノ恐レアリ。何者此ハ、和蘭文語

ノ性ニ從ヘバ、文中ノ重主ニ反及スベキ者ナル

ガ故ニ。此例ニ在テ **大将**ニ反及セザル可ラザレ

バナリ

三

辭ハ *man* 人ガ *kingt* 器ヲ *man* 人ガ *leacht* 笑フ 等ノ如ク、人及ヒ族

類ヲ極定セザルナリ。又夕此辭ハ、之ヲ 急ニ短縮

スルノ不可ナル、一ヲ識得スベシ。是レ其 尾

四

字ニ非ズメ、此辭ノ本體ニ属スルガ故ナリ

或人 *comand*ト之ニ反對セル 無人 *memand*モ亦之ヲ人代辭ニ

加ル、一ヲ得ルナリ。其 *memand* 辭ニ在テハ、之ガ後

ニ常ニ *dan*ヲ領スベクメ。絶テ *alle*ヲ領ス可ラザル

一ヲ知ルナリ即チ *kende* 誰モフ *memand* 中ニ *in de stad dan* 都府

被レ *ken* 吾ハ都府中ニ彼ナラデト云テ 云云彼レナト云サルナ

リ。然メ *neets* 無 *nooit* 絶テ *noogens* 他 *andic* 等ニ於テモ、亦夕之ト

同様ナリトス

五

主物代辭ナル者ハ、其實ハ人代辭ヨリ形成セル

陪辭ニ外ナラザルナリ。是ヲ以テ此辭モ亦夕、其

四

實辭トノ連合ニ於テハ、既ニ陪辭ニ就テ論說シタル規則ヲ承クデリ

單數并ニ複數ニモ、兩性ニ於ル第三人ノ主物代辭兩個アリ。即チ *heyn, hien, to hant* ト是ナリ。此辭ハ、男性ノ物體ニ就テ言ヲ成シ、或ハ女性ノ物體ニ就テ言ヲ成セルニ應シ。差異ニ用ル所ノ者ナリ。故ニ王ニ就テハ *heyn majesteyt* ト云ヒ、女王ニ就テハ *have majesteyt* ト云者、他ノ諸態ニ在テモ然リトス。

是區別ヲ以テスレバ、和蘭文語ニハ其分明ノ勝レルコト、若キ區別ヲ缺ケル衆ク、他ノ文語ニ越

四

ル幾多ト云コトヲ知ラシムルコトヲ贅スルニ足ル主物代辭ハ人代辭ト同ク人民ノ類族ニ系累シテ言辭ノ性ニ系累セザルナリ

見ル(四)章ラ即チ *de*

min (神ノ名) *shelut* *heyn* *pylar* *de* *ton* *schlunt*

min (女性) *shelut* *heyn* *pylar* *de* *ton* *schlunt*

heyn (車ヲ) *heyn* *pylar* *de* *ton* *schlunt*

heyn (車ヲ昇ス) *heyn* *pylar* *de* *ton* *schlunt*

等ノ如シ

同性同數ノ實辭先テル時ハ、主物代辭ノ照應ハ孰レニ歸スベキヤ。時ニ不切實ナルコトアリ。是態ニ於テ、主物代辭ノ其性ニ因テ照應スル文ノ重主ヨリ外ナル人ヲ目スルハ *heyn, hien, to hant* 或ハ *have*

ニ許多ノ幹旋ヲ受ル片ハ文勢ヲ増進セシガ為
 代辭ヲ用ルル時ニ緊要ナルアリ。 *de goede taal*
king, die tyne onderwijlers bemint en verhoort, die
alleg, xelig, verklaam en oplettend is, die is top en selo,
omms waerdig. 善良ナル書生ハソレハバレノ先生ヲ愛シテ尊敬スル所ノ書生テ常ニ
 貞正ニアリ勉業シテアリテ而ノ氣ヲ付テアル所ノ書生ハ譽レト褒稱
 ヲ價シ
 ノ如シ
 テアル
 以テハ近傍ニ見存セル者ヲ示シ
 以テハ離隔セル者ヲ示ス即チ *van hede en gene ty,*
de den rijkte, 川ノ此方ト
 ノ如ク亦夕實辭ニ系累アリテ
 然リ。 *pieten en klans tyne van een school tegenstaels god*
 身

五四

持 *rag, de te* カラリスラ指ス *was* 為ス *alles, wat tyne ouders*
 學師達ナガ 彼ニ 命スル 彼者ハ *pieter* テルラ指ス *voe*
 始終 彼人達ニテ 從順スル *pieter* トカラリストハ全ク反對シテ
 父母ト學師達ナトガ彼ニ命スル所ノ萬事ヲ為ス *voe* 身持ノ者デアアル此カラリスハナニテモ彼
 彼ニテハ直チニ彼人達ニ從順スルヲ肯ハヌ *voe* ノ如シ。然ノ相離隔セル
 三事ニ就テ説ク片ハ極近ノ者ニ *de te* ト云ヒ中
 間ノ者ニ *die* ト云ヒ遠隔セル者ニ *gene* ト云ヒ *de te*
de te kamer, ty in die en ty in gene 吾ハ此部屋ニ彼女ハ其部屋
 ニ。 *de te en gene* ハ一類ノ種々不定ナル物ヲ示シカ
 為ニ屢亦夕合并スルアリ。 *de heb dit int de en*
gene omstandigheden opgemaakt. 吾ハソレヲ此レノ彼レノア
 ノ如シ

六〇

^譽 *biggs* ^{所ノ} *die* 或ハ ^{所ノ} *velken* ^{吾ガ} *de* ^{受ケ} *ontvangen* ^{成レ} *het*, ^{ヤニ} *bestaat* ^在 *in* ^一 *een*
^{見ナ} *praar* ^{書物} *boek* ^{吾ガ受ケタ所ノ譽レハ} ^{見ナ} ^{書物中ニ成ル} ノ如シ

二個若ハ數個ノ實辭先テバ之ニ系累アル代辭
 ハ複數ニ見レシテ要ス。即チ *de* ^貴 *achting*, ^祝 *toegrueting*

en ^{信用} *het* ^{所ノ} *bestuurken*, ^{彼等ニ} *velke* ^{カケテニ} *hin* ^{落シ} *ten* ^ハ *heel* ^ニ *velken*,
^{彼等ニ順ニ廻リシ所} ^ノ ^{貴ミト祝ヒト信用}

トメ ^{所ノ} *het* ^{彼等ニ} *velke* ^{カケテニ} *hin* ^{落シ} *ten* ^ハ *heel* ^ニ *heel*, トスルヲ無シ。是レ錯
 誤ナルベケレハナリ

六一

承應代辭全文章ニ反歸スルハ性ノ極定適當
 也。故ニ其代辭ハ間性ニ於テ之ヲ置クナリ。即
 千 ^{吾ガ} *ik* ^{見レ} *vind* ^{オ共} *de* ^{物住居ルヲ} *kinders* ^{以テ} *beting* ^{巴レ等ノ} *met* ^{讀物ヲ} *hinne* ^テ *les* ^{覽ブ} *te* ^{其ノ} *leeren*, ^{吾ニ} *dat* ^一 *my*

六二

^{甚タ} *keet* ^{快ヨク} *aan* ^ア *aan* ^ル *naam* ^{吾ガ子共ヲ巴等ノ讀物ヲ學ブコトヲ以テ物住居} *was* ^{ルヲ見レ其ノハ吾ニ甚タ快ヨクアリシ所ノ} ノ如シ

少ナル態ニ於テ代辭ノ實辭ヲ距ルヲ遠キハ
 其系累ヲ明カニセンガ為ニ代辭ニ加ヘテ其實
 辭ヲ反復ス可クアリ。喻ハ *de* ^{先生ガ} *meester* ^{タリ} *had* ^{書生等ニ} *den* ^一 *lesing*

^{課業ヲ} *gen* ^{書キ與ヘ} *ene* ^{所ノ} *taak* ^{彼等ガ} *opgegeven*, ^{間クニ} *die* ^{時刻} *zij* ^一 *gedurende* ^一 *den* ^一 *tijd*, ^一 *dat* ^一 *de*
^{學校カ} *school* ^{デモアラツ} *konde* ^{静リ} *stil* ^{マツ} *staan*, ^{子ナラザリ} *meester* ^{為シテ} *opbecken*, ^其 *velke* ^{課業ヲ} *taak* ^{彼等ガ} *zij*,
^ホ ^{彼等ノ} ^{上校ニ} *by* ^皆 *hinne* ^{仕舞テ} *teugfontst*, ^{持ナ来リ} *alder* ^{先生ガ書生等} *opgebaar*, ^{ニ學校カ止ム} *medelgingten*.

六三

^{デモアラウ} ^{時刻ノ間ニ} ^{彼等ガ為シテ} ^{アゲテ} ^{バナラザリシ} ^{所ノ} ^{課業ヲ} ^{書キ} ^与 ^ヘ ^{タリ} ^シ ^其 ^{課業ヲ} ^{彼等ノ} ^{上校ニ} ^{於テ} ^{彼等皆} ^{仕舞} ^テ ^持 ^ナ ^来 ^リ ^シ ^{所ノ} ^者 ノ如シ
^{ウエルケ} *velke*, ^テ ^{クニ} ^ケ ^ハ ^{多ク} ^{高上ノ} ^{文ニ} ^{用ヒ} ^{短簡ノ} ^一 ^一
 ハ常ニ平常ノ文ニ用ルナリ。然レ亦夕叶合ノ

六

代換ニ於テ。如ク高上ノ文ニ用ルヲ得。然レ此
 辭ハ亦タ第一格ニ於ルキハ。通常人代辭ノ後ニ
 用ルナリ。即チ *die is komm*。 *die mijn zinn*
and wil zijn。 *die is komm*。 *die mijn zinn*
 我等カ *die is komm*。 *die mijn zinn*
 ノ如シ。然レ、氏變句ノ格ニ於テハ、*die is komm*
die mijn zinn。 *die is komm*。 *die mijn zinn*
 用ルヲ良好トス。即チ *die is komm*。 *die mijn zinn*
die is komm。 *die mijn zinn*。 *die is komm*。 *die mijn zinn*
 禮言フ *die is komm*。 *die mijn zinn*。 *die is komm*。 *die mijn zinn*
die is komm。 *die mijn zinn*。 *die is komm*。 *die mijn zinn*
 天幸カ *die is komm*。 *die mijn zinn*。 *die is komm*。 *die mijn zinn*
 禮言フ *die is komm*。 *die mijn zinn*。 *die is komm*。 *die mijn zinn*
 問代辭ノ條ニ於テ、事物ヲ論スル、氏變句格ニ在
 テハ、代辭ノ代リニ *die is komm*。 *die mijn zinn*。 *die is komm*。 *die mijn zinn*
die is komm。 *die mijn zinn*。 *die is komm*。 *die mijn zinn*
 等ノ如シ

六五

タル事、亦タ承應代辭ニ合當ス。即チ *die is komm*。 *die mijn zinn*
die is komm。 *die mijn zinn*。 *die is komm*。 *die mijn zinn*
 等ノ如シ
 戊○活辭 活辭ノ人
 和蘭活辭ノ目的ニ於ル人ノ徴ハ、必スシモ疑惑紛
 紊ヲ拒グ、十全ナラザルガ故ニ。和蘭文語用
 法ハ、第一人、第二人、及ヒ夫人、人獸事物ヲ示セル
 實辭ノ、現在セザル者ニ於ルキ、第三人ニ在テ
 モ亦タ、代辭ヲ以テ之ヲ示シ、欲スルナリ。故
 ニ時ニ平常ノ文ニ作為スルガ如ク、人代辭ヲ屏

ムル片ハ、其審定ノ幹旋ニ於テ、實辭モ活辭モ反復スル勿ンヲ要ス。喻ハ *beide leerlingen muntten oft*

in een sghander mak vist, de sene in het eten, de ont

zee in het schrijven. 二人ノ書生ガ各別々ノ学科ニ勝クル此者ハ讀ムニ彼ノ者ハ書クニ

夕兩人ニ系累アル活辭ハ、其後ノ人ニ於テ屢バ

略スルヲアリ。即チ *pieten koudt meer van spelen, ja,*

hoef van leeren. ビーテルハ多ク遊ビテカラ担任カスルヤ、フカラ

poppen, de jongen de paarden 童女ハ人形ヲ愛スル童男ハ馬ヲ

ノ如シ

活辭ハ常ニ之レガ系累アル人物ト同數ニ見ル

○活辭ノ單複數

ルナリ。 *de hond slaft.* 犬ガ吠ル *de nachtegalen fluiten.* 鶯共ガ啼ク

如シ。一活辭若シ二個若ハ數個ノ物體ノ單數ニ

於テ先テ爾者ニ系累アル片ハ、其活辭ハ複數ニ

於テ置クベキヲ要ス。 *marvelijheid, leergierigheid on*

ghaerzaamheid 極美ナル 飾リテ 好學ナルト 及ヒ

ナルト從順ナルトハ子 飾リテ 好學ナルト 及ヒ

數多ノ物體ニ屬シ、又夕其物體中複數ニ見レタ

ル者ニ屬セリト雖モ、唯其近傍ニ承ケル物體ノ

ニ單數ナレバ、則チ其活辭ハ單數ニ見ル、トヲ

得ナリ。 *ou was in huis slechts een kind, een tafel en drie*

汝ト 彼等カ 知ラ
 gy en hy, hy weten dit niet. 吾ト汝トナル我等ガ若ハ吾ト汝ト
 彼トナル我等ガソノヲ知ラヌ ノ如
 シ。亦此 我等ハ時ニ前ニ見ハル、トアリ。 喻ハ 我等ガ 吾ノ
 vriend en ik, zijn bereid dit te doen. 吾ノ友ト吾トナル我等ガ
 ソレヲ為スコヲ用意シタ
 ノ如シ。第二人ト第三人ト并見スル片ハ、其活辭
 ハ複數ノ第二人ニ於テ見ハル、ナリ。 彼ト 汝ガ 若ッハ
 汝ト 汝ガ 知ラ 證據人デ
 gy en hy zyt klaar van getuigen geslacht.
 ノ如シ

○活辭ノ時刻

時刻ハ、日常ノ語法ニ在テ、時ニ代換スルコアリ。
 故ニ頃刻前ニアリタル事故ニ就テ説話スル片

ハ方今時ヲ既往ノ代リニ用ナリ。 喻ハ 汝ガ 聞ク
 ik myne zaak niet niet te verdeligen. 吾ガ吾ノ事ヲ能ク守
 是レ
 gy hebt gehoord. 汝ガ 聞ヒ 汝ガ聞
 ト云ベキ者ナリ。又夕將ニ近刻
 ニ為ントスル事故ヲ目スル片ニハ、将来ノ代リ
 ニ方今時ヲ用ルコアリ。 行クカ 汝ハ 明朝
 gaat gy morgen ook naar bin.
 是レ 汝ハ 速カニ 復タ 吾ハ 速カニ
 is kom spoedig weer. 復タ来ル
 是レ 汝ハ 速カニ 復タ
 明朝 又ハ 行ク 汝ハ 明朝 又ハ 外ニ
 igoen ook naar buiten gaan. 行ク 汝ハ 明朝 又ハ 外ニ
 是レ 汝ハ 速カニ 復タ
 komen. 吾ハ 速カニ 復タ 来ルデアラウ
 ト云ベキ者ナリ

殊ニ活動セル説話ニ在テハ、聴聞者ラシテ、其出
 現ノ事實ニ方今状ナラシメンガ為ニ、帶既往ノ

代リニ屢バ方今時ヲ換用スルナリ。喻ハ *terdyg* the
静カニ *gevoel* ヒニ *op myne kamer zit*, 部屋 *hoor ik* 聞ク *plotslyk iemand angstig*
為 *om hulp roepen* 呼フ *ik stieg naar buiten*, 飛ブ *en zie een pier*
水ノ *veel in het water liggen*, 在ル *pluims springt in een schip*
近傍 *veel, dat juist in de nabijheid lag*, 飛ニ乗 *roce naar de oever*
者 *leekige toe en het het gelink naar te redder*.
吾カ吾ノ部屋ノ 上ニ 静カニ 坐ル
ノニ 不意ニ 吾ガ 人ヲ 氣ツカ ハシク 助ケ テ クレト 云 ラ 聞ク 吾ガ 外ノ 方ニ 飛 フ 而 メ 女 ヲ 水ノ 中
ニ 在 ル ヲ 見 ル 急 速ニ 吾ガ ナ ヤ ウ ド 近 傍ニ 在 リ レ 所ノ 小 舟ノ 中 ニ 飛 来 ル 不 幸 者 ノ 方 ニ コ キ 寄
ル 而 メ 彼 女 ヲ 助 ケ ル ノ 仕 合 ヲ モ ワ ノ 如 シ 親 切 ナル 説 話 文 語 ニ 在 テ 非 常
ナ ラ ザ ル 命 意 ノ 是 式 ハ 蓋 シ 画 圖 状 ノ 記 録 者 殊
ニ 詩 人 ノ 之 ヲ 用 ル 屢 バ ナ リ ト ス

七四

凡ル章句ハ其始マレル所ノ時刻ト同時刻ニ於
テ流行セザル可ラザルヲ識得スベシ。即チ
與ヘシ *ges een ongeluklygen alle, wat ik by my kee*
不仕合者ニ 諸物ヲ 所ノ 吾ガ 側ニ 吾ノ 持 チ シ
ナ シ 所ノ 諸 物 ヲ 與 ヘ シ ノ 如 シ 此 理 ア ル カ 為 ニ 訊 問 ニ 於 ル 應 答
モ亦タ其訊問ノ時刻ト同時刻ニ見レシヲ要
ス。 *heft gij velen sinnen kort ook gezien; ja, ik heb*
汝 ハ 汝 ノ 友 ヲ 近 キ 内 ニ 又 タ 見 レ シ カ 左 様 吾 ハ 彼 ヲ 昨 日 見 舞 タ ノ 如 シ
彼 ヲ 昨 日 見 舞 タ ノ 如 シ

活辭ノ法

顯示法ハ一定切實ノ事故ヲ示スニ用ユ。疑示法
ハ之ニ反シテ疑或不切實ノ事故ヲ示スニ用ル

七五

七七

属スルノミ
 人ヲ定ズシテ一个ノ作業ヲ考定スル活辭ノ不
 定法ハ、性辭ヲ配セルト否トヲ撰バズ、亦タ屢バ
 實辭ト為シテ用ルナリ。即チ *het spelen moet alleen*
遊フハ唯業作スル
het een verpoosting van het werken dienen
遊フハ唯業作スル
リ用立タ子 *gehoevenamen is de plicht van kinderen.*
カレコマルハ
吾ハ *ik kan mee van het wandelen.*
勞レテ
吾ハ *is schadelijk voor de borst.*
為ニ
高語ヒスルハ胸
ノ為ニ害ニアル
ノ如シ

語法學ニ於テ性ト數トノ顯著ナル判辭ニ就テ
 ハ、唯次段ノ事ヲ注目スルノミ、乃チ他動判辭ハ

七六

之ガ轉來シタル活辭ト、同様ノ格ヲ其側ニ有ツ
 一ヲ得。 *ene moed gerende vertroosting.*
勢ヒフ 與フル所ノ 慰サメ
二氣ニ入 ル愚人 モツ所ノ 實フモツ 樹 所ノ樹 巴レ自ラニ 氣ニ入ル 愚人 巴レ
ノ如シ。既往判辭モ亦タ、時ニ他動ノ義ニ用
 ル一アリ。即チ *de ingehelde ziekte* 是レ病患アリト念
思ヒタ 病人
 想セル病人ナリ。 *een eet en plichtvergeten mensch* 是レ
外間ト 務ヲ忘レタ
 外間ト務トヲ忘レタル人ナリ。因テ亦タ他人ニ
 仕フル所ノ人ヲ *een bekende* 人ト名ルナリ
仕テ
 又タ和蘭文語ニ在テハ、判辭ノ殊列ナル用法アリ。
 是レ實辭若ハ代辭ト連合セル判辭ノ獨立シ

七九

テ句外ヲ連續シ見ル、者ナリ。喻ハ *de oorlog niet* 合戦ヲ知ラセ

laard tijde, vaak het leger buiten de grenzen. 軍卒ガ外ニ界ヒノ合戦ヲ知ラセラレ

dit opgebaan tijde, ging de vergadering uit een. 行キレ革集ガカラ一ソノ

de oorlog verklaard tijde. 合戦ヲ知ラセラレタ所デ若ハ合戦ガ知ラセラレタ所デ ノ如ク。第四

格ヲ要スベキヤ。第一格ヲ要スベキヤト云フ。人

人久シク爭論シタレバ。方今ハ其第一格ヲ可ナ

リトセリ。然リト雖モ。敢テ全ク是語法ヲ棄擲ス

ルヲナクメ。之ヲ能セント欲スルニハ。勉テ是法

ヲ避ケテ。而メ之ニ幹旋ヲ用ユヘシトスルナリ。

ハ *nadat de oorlog verklaard was.* 合戦ガ知ラセラレタリシノ後ニ 等ノ如

○助辭

ハ。

二個若ハ數個ノ活辭。同系累ニ於テ并列スルハ

ハ。則テ之ガ相兼有セル助辭ハ。只一タビ之ヲ置ク

ナリ。喻ハ *alles, wat ik gezien, gehoord en dierloond heb.* 諸事カ所ノ吾ガ見聞ヒ而シテ住居シ

heeft mij geleerd, dat een. 吾ガ見タ聞タ而メ住居シタ所ノ諸事カ吾ニ云々ノ一ヲ學ハセタ 彼ガ *heeft*

mij behoort, dat hij morgen bij mij komen en met mij sta. 約束シ 彼ガ 明朝 側ニ 吾ノ 來ル 而メ 共ニ 吾ト

ndelen zal. 散歩スル 彼ガ明朝吾ノ側ニ來ルデアラウ而メ吾ト共ニ散歩スルデアラウヲ彼ガ吾ニ約束シタ *gehoortkame en na.* 從順ニシテ 勉強

ovstige kinderen werden behoud, onghoortkame en liye. 守共ニ 稱美サ 不從順ニシテ 不精者ハ

八

戒 *gublaeft*. 徒順ニシテ勉強スル子共ハ稱美サル
 不徒順ニシテ不精者ハ戒メラル、ノ如シ

人々勉テ *hebben* 辭ノ不適ノ重複ヲ避クベシ。蓋シ

是重複ハ稍聞ベキ所ノ者ナレバナリ。即チ *gij hebt*

het my bekeegd, 汝ガソレヲ吾ニ約束シタ
 ト云ベキ者ヲ *gij hebt het my*

bekeegd ghaad, ト云ヒ *het het is wel voorspeld*,
 約束シ *ト云ヒ* *het het is wel voorspeld ghaad* ト云

表知 *ト云ベキ者ヲ* *het het is wel voorspeld ghaad* ト云
 者ノ如シ。亦夕是ノ如ク過餘スルハ受動ノ態

ニ於テ助辭 *zijn, worden* ヲ不適ニ結合スルハ由

テ。時ニ生ズルアリ。即チ *my is verhaald*,
 吾ニ話サレタ *ト云*

ベキヲ *my is verhaald geshieden*, ト云ヒ *het den daartegen*

由テ *deur mynen vader dieberg gesaachticht geshieden*, ト云ル

ハ *het den gesaachticht*, 吾ガ云云知ラセラレタ *ト云テ足レリトス*。然

レ氏助辭 *hebben* ノ行悪ナル重複ト。此辭ヲ他義ニ

用ル所ノ態トヲ。絶テ混亂セサランコトヲ要ス。

即チ *het hebben veel te merken ghaad*, 吾ハ今日多ク業作
 スルコトヲ持ツタ *是レ*

het hebben veel moten merken, 吾ハ今日多ク業作
 セバナラナシダ *ト云義ナリ*。

het lang een groete som gelle ligen ghaad, 吾ハ久シク金ノ多
 クノ總計ヲアルヲ *是レ*

het lang een groete som gelle betoken, 吾ハ久シク金ノ多
 クノ總計ヲ我物シタ *ト云ル義ナリ*



